



### 第15回全国ホープス選抜卓球大会

#### 築山莉奈さん、吉本はなさんが北海道代表として出場

3月8日、日高町ジュニア卓球クラブに所属している門別小学校6年の築山莉奈さんと同校4年の吉本はなさんが役場を訪れ、同月23日から25日に神奈川県で開催される「第15回全国ホープス選抜卓球大会」に出場する北海道選抜女子団体チームに、全道・全国での活躍が認められ選出されたことを三輪町長へ報告されました。

全国大会での試合結果は、予選リーグは全勝で突破しましたが、決勝トーナメントでは強豪といわれる埼玉県選抜に惜敗しました。

2名とも、日頃の練習の成果を発揮し、北海道代表として堂々とした試合をされました。



### 避難所の開設・運営をゲーム形式で

#### 「Doはぐ」で避難所運営の模擬体験

3月4日、町主催の防災訓練「避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)」を門別総合町民センターで実施し、自治会役員などを中心に33名の方が参加されました。北海道が作成した「避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)」では、避難所開設・運営の模擬訓練が可能で、参加された方々は、避難所で起こり得る様々な問題を解決するため意見を交わり、避難者の適切な誘導や避難所でのルール作りなどに知恵を絞り、いつ起こるかわからない大規模災害への備えや防災に対する意識を更に向上させていました。



### 早め早めの防災行動の確立に向けて

#### 「沙流川日高町富川地区水害タイムライン」完成

3月14日、沙流川の氾濫に備え、町や防災関係機関の対応を時系列に示した事前防災行動計画「沙流川日高町富川地区水害タイムライン」が完成し運用を開始しました。タイムラインは、町や各機関が取るべき行動をあらかじめ決めておき、早め早めの防災行動を確立するために策定したものです。

平成29年7月の第1回検討会から16機関による6回の協議を経て、日高町、室蘭開発建設部、室蘭地方气象台の3者でタイムラインの運用協定が締結されました。タイムラインは実運用を通じて熟度を高めて必要に応じて随時改編するため、当面は試行版として運用を開始しています。



### オープンから18年5ヶ月

#### 門別温泉とねっこの湯来館者数400万人を突破

3月13日、門別温泉とねっこの湯が、平成11年のオープン以来、入館者数400万人を達成しました。

400万人目となった入館者は午前10時頃に来館した門別本町の中迫勝彦さんで、入館受付のためフロントに立ち寄った際に、従業員よりおめでとうございますと声をかけられました。

中迫さんは「週に2、3日程度利用する。まさか自分が400万人目になるとは思っていなかった」と話し、三輪町長から花束と記念品が手渡されました。



JOCジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技会

## 竹内兄妹が全国大会へ出場

3月21日、日高中学校2年の竹内一さんと、妹の日高小学校5年のりかさんが教育委員会を訪れ、同月22日から25日に岩手県で開催される「JOCジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技大会兼2018全日本ジュニアスキー選手権大会」の出場を宮川教育長へ報告されました。

全国大会では兄の一くんは怪我の影響で悔しさが残る結果となってしまいましたが、妹のりかさんは小学5・6年生で構成されるK1クラスのスラローム種目で見事、8位入賞を果たしました。



昭和24年の開校以来268人目の卒業生

## 里平小学校最後の卒業式

3月19日、4月から厚賀小学校へ統合となる里平小学校で最後の卒業式が行われました。

この日卒業した水口美深さんは、昨年の春、神奈川県から山村留学生として入学し、唯一の6年生でした。

上野校長先生は式辞で、「たった1人の最高学年として、不安なことがたくさんあったと思いますが、みんなを支え、リーダーシップをとってきました。里平に来てくれてありがとう」と式辞を述べました。

また、式の最後には5名の在校生から水口さんとの思い出が語られました。



日高町立日高国民健康保険診療所

## 4月2日より新設備で診療再開

4月2日、昨年6月から改築工事が進められ、本年2月28日に竣工した日高町立日高国民健康保険診療所の診療が開始されました。

新診療所は鉄筋コンクリート造平家建、延べ床面積が833.23㎡で5床の入院病床を有しています。

新診療所の完成により、日高地区における地域医療の拠点として、これまで以上の活躍が期待されます。



平成29年度消防庁長官表彰伝達式

## 松浦有伴氏、門別進氏が受賞

3月26日、日高町役場町長室で、平成29年度消防庁長官表彰伝達式が行われ、山手町の松浦有伴氏と富川東の門別進氏がそれぞれ受賞されました。

松浦氏は昭和53年に日高消防団団員として拝命以来39年、門別氏は昭和51年に日高西部消防組合消防吏員として拝命以来42年の永きにわたり、豊富な知識と経験をもって、消防職団員の技術の向上と士気の高揚に積極的に取り組むとともに、火災予防の普及と地域防災に尽力してきた功績に対し表彰されました。